

## 奥田勝臣先生ならびに岡田和秀先生の 定年ご退職に寄せて

奥田勝臣先生は平成20年4月14日に、岡田和秀先生は平成20年8月21日に、それぞれめでたく古稀を迎えられました。しかし、そのことは、同時に両先生が本年3月末日をもって定年ご退職されることを意味しています。難しい課題を抱えている本学が両先生の高い識見と貴重なご経験を必要としているこの時期に、両先生が教壇を去らなければならぬことは、本当に残念でなりません。ここに両先生のご略歴と本学や社会へのご貢献を紹介し、心より感謝の意と惜別の念を表したいと思います。

経営学部教授奥田勝臣先生は昭和13年4月14日にお生まれになりました。昭和32年3月に大阪府立布施工業高等学校をご卒業後三菱電機株式会社に入社され、平成元年3月までお勤めになりました。その間先生は、社会人として大阪府立大学工業短期大学部で学ばれ、昭和37年3月にご卒業になりました。また、先生は、昭和46年4月から慶應義塾大学情報科学研究所で15年以上非常勤講師を努められ、昭和60年には慶應義塾大学より工学博士号を取得されました。そして、平成元年4月に本学経営学部教授として入職され、爾来20年もの長い間本学にご貢献いただきました。

学部教育では、データ処理論、コンピュータ概論といった情報理論の基本科目などを担当されました。大学院においては、情報科学特論、情報システム学特論などきわめて重要な情報理論の科目をご担当になり、多くの優れた学生を育成されました。

学内行政においても、経営学部長をはじめ、理事、評議員、就職指

導委員会委員長、情報科学研究所所長、自己点検・評価委員会委員、情報科学センターセンター員など多くの重要な役職を歴任されました。特に経営学部長を務められていたときは、経営学部で昨年度から動き出した新しいカリキュラムの基礎を築かれましたし、なんといても本学の運営・活性化に大変大きく寄与されました。そのほか教員資格審査委員会委員、経営学部長補佐なども歴任されておられます。学外活動・研究面におきましては、平成6年に長期在外研究員としてアメリカに留学され、ワシントン大学で研究活動に従事されました。また、NHK コンピュータ講座や放送大学で講師を務められ、情報処理学会では論文査読委員など重要な委員、私立大学情報教育協会委員及び大会運営委員などを歴任されています。現在では情報システム学会で理事を務められています。

経営学部教授岡田和秀先生は昭和13年8月21日にお生まれになりました。昭和32年に東京都立新宿高等学校をご卒業、翌33年4月に早稲田大学第一商学部に入學され、昭和37年3月に卒業されました。直ちに同大学大学院商学研究科に入學され、昭和39年3月同研究科修士課程を修了後同研究科博士課程に進学されました。昭和42年同研究科博士課程を終えられると同時に愛知学院大学商学部にて専任講師として入職されました。その後昭和45年助教授、昭和54年に教授に就任されました。昭和58年3月まで同大学にお勤めになり、翌4月に本学経営学部に教授として入職されました。爾来26年の長きにわたり本学の教育・研究・学内行政に多大な功績を残されました。

学部教育では、経営学総論（現・経営入門）、経営管理総論といった経営学の基幹科目などを担当されました。また大学院でも、経営管理特論などきわめて重要な経営学の科目をご担当になり、数多くの優秀な学生を育てられました。

学内行政におかれても、大学院経営学研究科長をはじめ、就職指導委員会委員長、学生部次長、国際交流委員会運営委員会委員など多くの委員を歴任されました。就職指導委員会委員長を務められた時期は、私も同時期に先生のもとで就職指導委員会委員をやっておりましたが、ちょうどバブルが崩壊したときで、先生は学生のために大変苦勞されていたのを覚えています。また、国際交流委員会委員及び同運営委員会委員は15年以上にわたり努められ、その運営などに大きく寄与されました。学外におきましては、たとえば科学技術振興財団調査研究委員、科学技術国際交流センター・プロジェクト委員会委員、さらに国際協力機構、社会経済生産性本部などではセミナー・リーダーや講師を歴任され、現在では海外技術者研究協会理事、同事業審査会会長、省エネルギーセンター国際研修本部事業審査委員会委員を努められています。

以上、奥田勝臣先生ならびに岡田和秀先生のご活動の一端を紹介させていただきましたが、お二人の教育、学内運営などにおけるご功績は大変顕著なものがあります。両先生のごようなご功績に対して、経営学部は平成20年11月25日の教授会において、満場一致で奥田先生と岡田先生を専修大学名誉教授に推薦させていただきました。そしてここに、両先生からいろいろな形でご指導をいただいた後輩教員の最近の研究成果の一部を編集し、「専修経営学論集第88号」を「奥田勝臣教授ならびに岡田和秀教授退職記念号」として両先生に謹呈し、経営学部教員一同、心から深甚なる感謝と惜別の意を表する次第であります。

両先生が定年ご退職後もご活躍され、ご健勝であらんことを祈念いたしますとともに、名誉教授として私ども後輩に対する更なるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます、これまでのお礼とお別れのご挨拶とさせて

いただきます。

平成21年3月

専修大学経営学部長 瓶子 長 幸